



空間に浮くタッチモニター

Next Generation Display

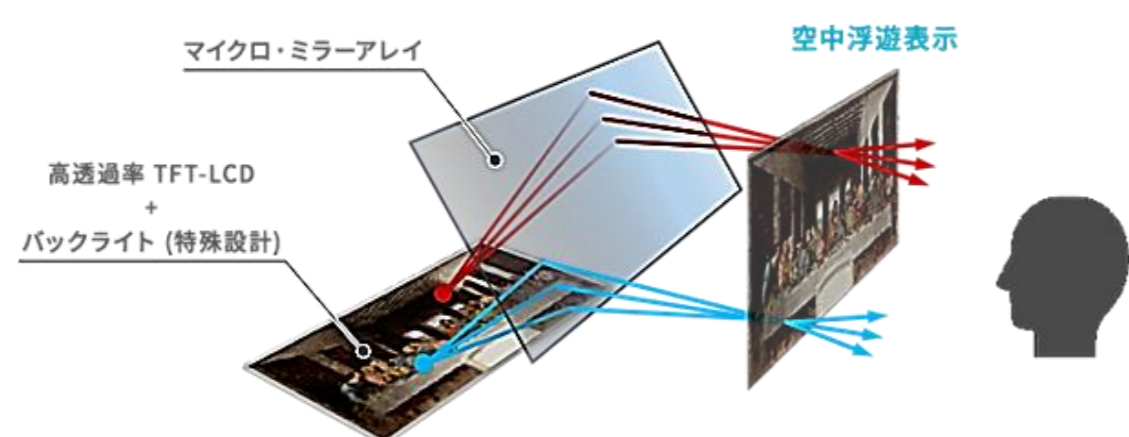


空中の映像に触れてタッチ操作

手袋をつけたまま操作が可能

画面を介して人との接触リスクを軽減・衛生的・触れずに安心

空中浮遊表示の原理



マイクロ・ミラーアレイを通過した光は、反対側の同じ距離の位置に再び集まります。この仕組みにより空中に結像し、正面からみたときには空中に浮かぶ映像をみることができます。

見る角度変えることで、映像がみえにくくなるため、情報入力時のセキュリティも確保することができます

1 高輝度高精細な結像

- 一般環境でも十分な視認性
- 高品位な結像品質
- ゴースト(残像)の低減を実現

2 操作性

- 空間センサーと統合させ空中ヒューマンインターフェースの実現
- ストレスなくタッチ操作が可能

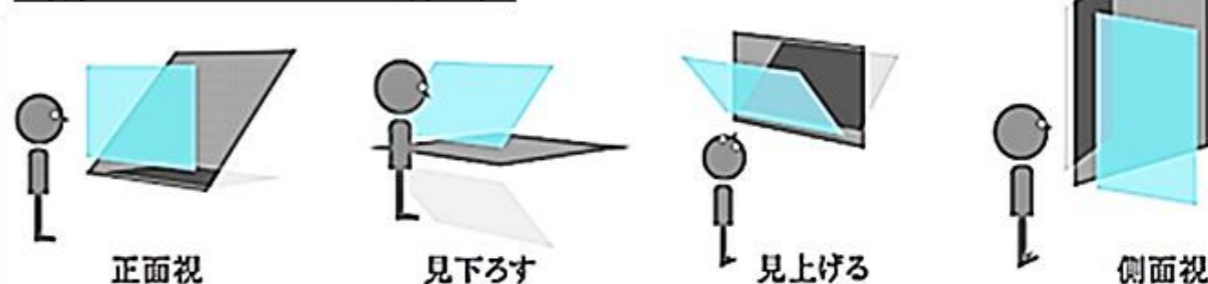
3 カスタマイズ

- お客様ご要望に合わせて表示サイズのカスタマイズ(7型~17型) また、操作系の端末として小型化にも対応
- UI/コンテンツ、様々な設置パターンに対応

標準仕様

項目	内容
ディスプレイサイズ	~17型(W375×L211)
表示サイズ	~17型相当
視野角(左右/上下)	110°
表面輝度	350cd/m ² (最大時)
入出力信号端子	HDMI
重量	1.2kg
本体設置寸法	H210mm×D90mm×W205mm
〈センサー仕様〉	
タイプ	IRラインセンサー X・Y認識
全体消費電力(7型機)	8.5W

〈様々なパターンで設置〉



〈用途一例〉

